

## 議長記者会見（第24回）会見録

日時：平成28年12月20日（火）

午後2時から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う宮下議長（右）と谷内副議長（左）

### 1 今定例会を振り返って

はじめに、崇仁親王殿下には、去る10月27日に薨去されました。11月1日に、本議会の弔意を表すために、弔詞を奉呈してまいりましたが、にわかのことでもあり、まことに痛惜の極みでありました。

#### ① 北陸新幹線敦賀以西について

さて、論戦ですが、本日、与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームで敦賀以西のルートが正式決定するわけではありますが、今議会でも、各議員からルート問題等について、

知事の考えなどの質問がなされました。

知事からは、JR西日本が小浜－京都ルートを支持しており、小浜－京都ルートとなった場合には、中京圏のアクセスの確保に配慮する旨表明していること、これまで、北陸3県が足並みをそろえて事業を推進してきたことが金沢開業とその大きな成果につながったことなどから、与党プロジェクトチームのヒアリングにおいて、小浜－京都ルートに賛意を表明した旨、

また、県議会の米原ルートを支持する決議は、早期の完成と中京とのアクセス確保を求める思いからなされたものと受け止めており、年内のルート決定、平成42年度末の北海道新幹線札幌開業までの大阪への延伸の実現、中京圏とのアクセス確保に特段の配慮を強く要請した旨の答弁がありました。

議会といたしましても、今後、3県連携をして早期全線整備に向け、取り組んでまいりたいと思っております。

## ②金沢港について

金沢港についてですが、コスタ・クルーズ社は、本年の日本海周遊クルーズが好評であったことから、来年度は3倍に拡大するとのことであり、これを含めた金沢港への寄港数は本年の30本から50本を超える見込みとのことであり、クルーズ船定着への取り組みや、金沢港が石川の顔として誇れるようソフト、ハード両面の対策について質問がありました。

これに対し、来年は、金沢港がクルーズ船拠点港として大きく飛躍できるかどうかの正念場と捉え、クルーズ船のさらなる拡大に向け、年明けには、東京、大阪、名古屋において日本海クルーズの魅力を発信するセミナーの開催、来春には、新幹線沿線や東北において紹介番組を制作し、放映するなど金沢港発着クルーズの定着に取り組んでいく。

また、無量寺岸壁につきましては、東京オリンピック前の平成31年度の供用が確実になったとのことであります。

クルーズ船の定着は、本県の賑わい創出に大きく貢献するものであり、県議会としましても、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。

## ③いしかわ森林環境税について

森林の持つ公益的機能の維持増進を目的に、平成19年度に創設された森林環境税について、さらに5年間延長するための条例改正案が上程されましたが、次期対策の具体的な取り組みについて質問がありました。

新たに発生した手入れ不足人工林の整備、放置竹林の除去、集落と野生獣の生息域との緩衝帯の整備に活用して取り組むとのことであります。

県民にご負担いただくものですから、有効に活用していただきたいと思っております。

#### ④のと里山海道について

全線無料化や北陸新幹線開業効果などにより交通量が増大をしている、のと里山海道について、未来のある中学生が犠牲になる大変痛ましい事故が発生するなど、正面衝突が相次いで発生したことから、対面通行区間の安全対策や4車線化について質問がありました。

執行部からは、現在、注意喚起看板の設置等を進めているほか、今議会の補正予算において、センターポールを10メートル間隔で増設するとともに、車線からの逸脱を音と震動でドライバーに知らせる溝切りをセンターライン上に施工するとのことであります。

また、先に着工した柳田から上棚矢駄インターまでの4車線化事業については、ゆずりレーンを延伸するなど部分的に4車線化区間の拡大を図り、早期に効果を発揮していくとのことであります。

のと里山海道は、私も日々利用しているところでありますけれども、能登地域にとって大変重要な道路でありますし、議会としても、安全対策にしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

#### ⑤意見書について

今定例会で可決をされた意見書についてであります、「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、2件が可決をされました。

可決をされた2件については、県議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出するものとしているところであります。

## 2 今年1年を振り返って

第98代議長として、今年の3月22日に議長に就任をいたしました。もう9箇月が経ったわけでありまして。今年も残すところ10日あまりとなりました。少し振り返って所感を述べたいと思っております。

生まれが隣村の谷内さんとともに、本当に9カ月、いろんな意味で皆さん方にもお世話

になりましたし、私どもにとりまして、この9カ月大変勉強にもなったわけでございます。小さい奥能登に育ったものとして、やっぱり石川県は広いところでありまして、いろんなご意見の方、いろんな思いの方がたくさんおるなという感もしたわけでありまして。私は、この9カ月いろんな所に行ってまいりまして、本当にいろいろと、人の思いやり、ありがたみということをつくづく感じたところでありまして。やっぱり、石川県は素晴らしいな、こんな思いもしたところでありまして。

さて、就任した3月は、北陸新幹線金沢開業から1年が過ぎました。開業効果の持続が問題とされておりましたが、2年目も引き続き、国内外から多くの観光客にご来県をいただいております、うれしく思っているところでございます。

今後は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年であります2020年、さらには平成34年度末に予定されている北陸新幹線の県内全線開業に向けて、観光客の拡大を図っていく必要があります。

東京国立近代美術館工芸館の設置、クルーズ船の定着などさらなる魅力向上に向け、官民挙げて取り組んでいかなければならないと思っているところでもあります。

7月には、参議院議員通常選挙が行われました。初めて18歳、19歳の若者が1票を投じました。18歳の投票率は50パーセントを超えたものの、若者の投票率は、依然として低い状況となっております。

県議会におきましても、年4回全世帯に配付している県議会だよりを、昨年7月から高校や大学にも配付をし、少しでも若者が政治に関心を持っていただけるよう努めているところでもあります。

また、平成26年度から小学生とその保護者を対象として実施しております親子県議会教室を、今年は実施期間を2日間に増やして、より多くの方々に参加いただけるようにしました。

多くの方に、広く県議会をPRすることで、政治に関心をもってもらえるようにすることも我々の大切な仕事だと思っております。

次に、本年は、スポーツ分野でめざましい活躍がありました。

8月のリオオリンピックでは、レスリング女子の川井選手の金メダルをはじめ、石川県出身の3選手がメダルを獲得するという素晴らしい活躍がありました。

さらに、プロ野球でも、千葉ロッテマリーンズの角中選手が全試合出場という素晴らしいなかで、2度目の首位打者と初の最多安打の2冠に輝くなど活躍をされた1年でありました。角中選手は能登の出身ということで、そしてまた、航空学園の出身ということでもありますし、私としまして、なにかすごく嬉しい感じがしますし、特別賞をいただいたときもお父さんは、「この子はプレッシャーに強いんで、プレッシャーをかけて、来年も

是非、首位打者を取るんだ」こんなことを皆さんもお聞きをしたと思いますけれども、素晴らしいお父さんあって、この子があるんだな、こんな感もしたわけでありまして、こんなことも教育の場では、大切なことだなと実感もされたところでもあります。

ともに、多くの県民に感動を与え、届けてくれました。4年後の東京オリンピックを目指して、今後のさらなる活躍を期待したいと思いますし、これに続く、新たな県内選手の活躍にも期待をしているところであります。

4月には、「『珠玉と歩む物語』小松～時の流れの中で磨き上げた石の文化～」が昨年の「キリコ祭り」に次いで、2年連続の日本遺産に認定をされました。

さらに、先般、七尾の「青柏祭の曳山行事」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。「奥能登のあえのこと」に続く登録であり、観光振興に大いに期待をするものであります。

能登を元気にすることが、石川を元気にすることに繋がると思っておりますので、大変うれしく思っている次第であります。

石川県は、質の高い歴史や文化遺産を数多く有しており、これらの魅力を掘り起こし、しっかりと発信していくことで、元気に繋げていきたいと思っております。

次に、政務活動費の見直しについてであります。先月、議会改革推進会議において、平成28年度交付分から、収支報告書を議会ホームページで公開し、政務活動費の支出に係る領収書等の写しの閲覧を開始することに決定をいたしました。

また、マニュアルについて、検討小委員会で、改訂の検討を進めております。先週、各会派に改訂（案）の提示があったところでもあります。今後、議会改革推進会議でしっかりと議論をされるものと思っております。

### 3 その他

また、2015年の国勢調査の確定値がでたことを受けて、石川県議会議員選挙に係る選挙区、議員定数及び各選挙区議員数に関し検討をするため、本日、「石川県議会議員選挙区・定数検討懇談会」を設置いたしました。今後、懇談会において、見直しが必要かどうかも含めて、議論をしていただくこととなります。

今議会で、井出議員が県議会議員を辞職されました。大事な同士が辞職をされて大変寂しい限りでありますけれども、井出さんには、新たなステージで頑張ってもらいたいと本当に心から願う次第であります。

私からは、以上であります。

副議長からもどうぞ。

谷内副議長

今、議長が所感を述べられまして、私もそのとおりでございますし、振り返ってみて、3月22日から就任しまして、早いもので9カ月になったわけでございますし、この間さまざまなことがございましたけれども、宮下議長の能登の粘り腰とそのパワー、お人柄によって議会で支えていただいたなとこのように思っているわけでございます。サポート役でなにかと足を引っ張らないように、一生懸命やってまいりましたが、本当にかつてない9カ月間、あっという間に12月、あと残すところ10日で新年を迎えるわけでございますが、ここまで無事、議長のご指導をいただきながらやってこれたなと実感したおるわけでございます。県議会事務局の方々、そして、本日お越しの報道各社の皆様方のお力によって、ここまでやってきたな、こういうことで感謝したいと思っておりますし、また、引き続き、明年もよろしくお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

#### 4 質疑応答

記者

先ほど、議長の定例会を振り返ってのなかで、今日、与党の整備新幹線プロジェクトチームで新幹線のルートが正式に決まると、県議会では去年米原ルートを決議した形でその後、新しい決議はないわけですがけれども、3県連携して今後予算獲得励んでいくなかで、この議決の違いというのは、来年から進めていく上で影響はないか。

宮下議長

私は、個人的にはないと思ひます。

やはり、ルートよりも東海地区へのアクセスということでそうした決議もしたわけでありまして、43年開業という、私はもちろんいいですけども、夢みたいな話もどうなのかなと思ひます。今の決議が決して今後の足かせになるとは思ひていません。今後は、3県でしっかりとタッグを組みながらいろんな意味で連携をしてやっていくものと思ひておりまし、大丈夫だと思ひます。

記者

今年、政務活動費のあり方というのが、非常に問われた1年だったと思うんですが、議会としての、自浄作用が問われているかと思うんですけれども、いま公開の方針も変わり、マニュアルの運用の見直しを進めているなかで、来年以降、引き続きどういった形でこの問題にどうやって取り組んでいきたいとお感じでしょうか。

宮下議長

先ほど申し上げましたように、いま、検討委員会で検討している最中でありますので、それは、検討委員会でしっかりと検討していただいて、それを議員の皆さんがしっかりと守っていく。このことに尽きるのではないかと思います。

記者

来年度から、収支報告書はホームページで公開し、それから領収書については図書室で閲覧ができると思うんですけれども、この決定については、現時点では議長としてはどのように評価されますでしょうか。

宮下議長

私は、大変な進歩をしたのではないかと考えております。もうちょっと、と思うかもしれませんが、徐々にということではないかと思います。

記者

新幹線のルートの関係なんですけれども、今回中村勲県議が下ろすこともやぶさかではないというお話を代表質問でされたりということもありましたけれども、今議会では、特に決議を取り直すとか、なかったわけなんですけれども、姿勢として、手続的に決議をどうこうする、見直しする必要は議長として特にお感じにはならない。

宮下議長

ないと思います。

記者

その点について、その理由を述べていただけますか。

宮下議長

決議は、あくまでも決議ですし、それをどうのこうのというよりも、それを加味しながら次の段階に進んで行くことで、それは、決議を下ろすとか、どうか、必要はないと思います。

記者

米原ルートが決議の主旨の中京圏アクセスだったり、早期延伸という部分での主旨で政府与党の決定は、十分反映されるだろうと見越してということなんですか。

宮下議長

私は、反映されるだろうとっておりますし、反映していただきたいとっております。

記者

その主旨がしっかり反映されれば、米原だの、小浜京都だの、そこは問題じゃないと。

宮下議長

それは、言いにくい話だけれども、みなさん分かってのとおりなので。

記者

特別、そういった促すことも。

宮下議長

いずれにしろ、一日でも早くということが、北陸の皆さんの願いだろうとっておりますし、3県がしっかりとやっていけばいいのではないかとっております。

記者

今後、領収書のホームページ公開とか、あるいは、もうちょっと進んだ改革が考えられることになるのでしょうか。

宮下議長

くどいようですが、それは検討委員会で検討しているので。

記者

議長としては、後払いとか。

宮下議長

答えにくい質問ではありますが、検討会議でしっかり検討していただくことでお許しを願いたいと思います。